

## ● 成人への門出を祝う

1月12日(日)生涯学習センター

27

## 令和2年上士幌町成人式

わっかにて成人式が行われ、27人の新成人が参加しました。好天に恵まれた当日の式典では、新成人の小中学生の頃の写真を集めたスライドショー上映や、一人ひとりから成人としての意気込みも発表されました。振袖やスーツに身を包んだ新成人の皆さんには友人との久しぶりの再会を喜び合い、大人への第一歩を踏み出しました。



### 12/26 3人そろって全国出場を 上中スケート部全道大会出場

第50回北海道中学校スケート大会スピードスケート競技に参加する上士幌中学校スケート部の有坂さん、石川さん、竹内さんの3名が教育長を訪問しました。

参加する選手たちは「昨年は怪我で全道大会に出ることができなかったが、今年は練習の成果を發揮し、表彰台を狙いたい」「3年間全道大会に出場しているので、集大成を見せられるよう頑張りたい」など大会への意気込みを語りました。



### 1/7 国内最高峰の大会へ 千年颯太さん全国大会出場

1月13日から大阪で開催される天皇杯・皇后杯2020全日本卓球選手権大会ジュニアの部に参加する上士幌中学校3年生の千年颯太さんが役場を訪れました。

千年さんは「この大会は初めての出場。自分のプレーをすべて出し切りたい。目標は第一シードとの対戦まで勝ち上がり、1セット取ること」と意気込みを語りました。町長は「実力を十分に発揮して、悔いのない試合をしてほしい」と激励しました。



### 1/9 スポーツ振興に尽力いただきました スポーツ推進委員功労者表彰

10年以上にわたるスポーツ推進委員として、地域の社会体育に貢献された細岡浩幸さんが北海道スポーツ推進委員功労者表彰を、長屋信代さんが十勝スポーツ推進委員功労者表彰を受章しました。

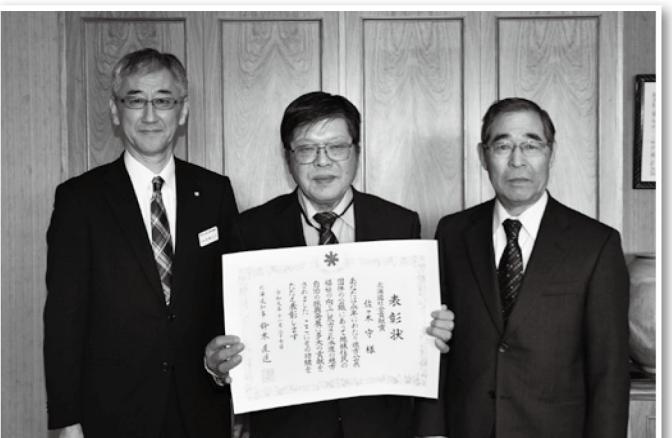
印象に残っている活動について「ニュースポーツのフロアカーリングの普及を行ったこと。発祥地である新得まで学びに行き、上士幌の各地域で子どもから大人までを指導したことが印象深い」とお話しいただきました。



### 12/24 全道優勝を目指して 上中卓球女子団体全道大会へ

12月27日から札幌で開催される第35回道新杯北海道中学選抜卓球大会に出場する上士幌中学校女子卓球部8名が教育長を訪問しました。

出場する選手からは「勝ち上がっていきたいには声掛け、協力などチーム力が必要。全力を尽くして優勝を目指したい」と意気込みを語りました。教育長は「元気よくみんなで励ましあいながら上位を目指してほしい。体調に気を付けベストコンディションで大会に臨んで」と激励しました。



### 12/26 長年の功績をたたえて 北海道社会貢献賞伝達

長年本町議会の議員として活躍された佐々木守さんに北海道社会貢献賞が伝達されました。佐々木さんは昭和58年から平成31年までの9期36年、上士幌町議会議員を務められ、本町の発展に大きく貢献されました。受賞について「今回表彰いただき大変ありがとうございます。議員として時代に合わせた経済展開を念頭に置いて活動をしてきました。」とお話しされました。

# 12・1月の まちのわだい

# 上士幌中3年清水さん、人権作文コンテスト入賞

第39回中学生人権作文コンテスト東北海道大会において、上士幌中学校3年の清水琴葉さんが特別賞を受賞しました。清水さんは「今回の作文をとおして、福島の風評被害が少しでも減ればうれしい」と話しました。

また十勝地区大会で奨励賞を受賞した上士幌中学校3年の中田侑樂さん、有賀孝太郎さんが表彰されました。



今回特別賞を受賞した清水さんの作品『福島からの贈り物』をご紹介します。

## 『福島からの贈り物』

上士幌中学校三年 清水 琴葉

「今年も福島から餅が届くよ。」曾祖父の兄弟が福島で農業を営んでいる為、お正月にはいつも、収穫したお米をついた餅を丁寧に切り餅にして送ってくれる。私はこのお餅が本当に大好きで、食べた瞬間、心を込めて作ってくれている様子が目に浮かぶ。甘くて柔らかくて米の美味しさが口いっぱいに広がる。本当に世界一美味しいお餅だと思う。

二〇十一一年三月、東日本大震災により福島も甚大な被害を受けた。福島第一原子力発電所の原発事故により放出された放射性物質の影響により、福島県の農産物、水産物に多大なダメージを与えた。農産物や水産物だけではない。そこに住む人々の心や身体にも計り知れない恐怖、不安、絶望感をもたらした。私には想像も出来ない過酷すぎる状況だったと思う。そんな中、福島の人々は何を想い、何を考えたのだろう。胸が苦しくなる。その頃の私はまだ幼かった為、テレビから流れる映像から何となく「大変なんだ」と感じた事を覚えている。

その年はいつも届く桃やお餅が届かなかった。「どうして届かないの!」「食べたかったのに。」そう言う私に母は困った顔をした。そんな状態が何年か続いた後、福島から桃が送られてきた。とっても嬉しかった。一緒に入っていた手紙に目を通す。その文章の中には、こんな一文が書かれていた。

「検査はクリアしています。安全なので安心して食べて下さい。もし食べるのが嫌だったら食べなくても良いですよ。」と。すごく悲しくなった。風評被害や買い控えがある事は知っていた。曾祖父からもその話をよく聞いていたし、連日テレビニュースでも取り上げられていた。

母が「美味しいぞ!! すごく良い香りがするよ。」と桃の香りをかかせてくれた。甘くて優しい香りがした。みんなで食べた久し振りの福島の桃は本当に美味しい、嬉しくて。何故、世の中には風評被害というものがあるのか怒りを覚えた。心を込めて作物を育て風評被害に立ち向かい、一生懸命に安心安全をアピールし続けている人々が沢山いるのに。

二〇十二年には「世界一厳しい基準と検査」米の全量全袋検査、二〇十五年以降、基準値を超える米は見つかっていない。米だけではなく他の野菜、果物、水産物等も「モニタリング検査」を合格した物しか流通していない。それでも震災後、何年も福島県産から遠のく人は少なくない。みんなに美味しい、どこよりも安心安全をアピールし誠意と自信をもって私達に届けてくれている。どんな逆境に立たされても農業から離れず全力で向き合っている。私には何ができるのだろう? 少しでも何か力になれる事は出来ないか。考えても考えてもいい答えは出てこなかった。でもどうしても伝えたかったのだ。どんな想いで作物を育て検査を徹底し風評被害を少しでも減らそうとしている人々の事を。努力は必ず結果になると信じている。

久し振りに食べた桃やお餅の味。この一口にはどれだけの人々のどれだけの想いが詰まっているのだろう。一緒に添えられた手紙「検査は大丈夫だよ。」この一言にどれだけの苦悩とどれだけの想いが詰まっているのだろう。そんな事を考えながら今年も届くであろう「福島の味」を心待ちにしている。想いを受け止めながら、いただこうと思う。

「美味しいよ。」その一言でもし誰かが救われるのなら、声を大にして言いたい。

「私はこれからも福島の味に感謝しながら美味しいただきます。」それが今の私に出来る事。小さな力かもしれないけど、これから福島のみなさんの明るい笑顔、福島の農業の安定を願いながら、自分の出来る事から少しずつ始めて行きたいと思う。今もこの瞬間、福島の農業が少しでも良くなっていく事を心から願っています。そして最後にいつも、美味しい桃やお餅を送ってくれている曾祖父の兄弟の方へ。

会った事がない私達の為に毎年、心が込もった福島の味をありがとうございます。

毎回みんなで美味しいただいています。

今年もお正月のお餅、楽しみにしています。

いつでも感謝の気持ちを忘れず、私なりに出来る事をして行きます。いつかもっと大きな協力ができるように、これからも今の気持ちを持ち続けていきます。

## 図書館の充実と学習環境の向上のために ライオンズクラブ寄付

今年4月29日に結成50周年を迎える上士幌ライオンズクラブより図書館の充実と、子どもたちの学習環境向上を目的として100万円が寄付されました。当団体を贈呈した上士幌ライオンズクラブ山田忠雄会長は「会員の確保などが厳しい状況の中、50周年を迎えたことは非常に喜ばしい。これからも会員一同、上士幌に合った奉仕活動を考え行動していきたい」とお話されました。



1 / 15

## 役場の新人紹介(地域おこし協力隊員)

◆名前:木原 悠斗(26歳)

◆職種:観光誘客組織づくり推進員  
(商工観光課)

◆出身地:札幌市

今まで培ってきた技術や経験で上士幌町に貢献していきたいと思います!

まずは道の駅OPENにむけて精一杯頑張ります!



## 地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE:自分たちで本を選ぶ面白さ

記:社会教育推進員 森 典子



上士幌町で生活し始めてから9か月が経ちました。「上士幌の冬は寒いよ!」と、色々な方からお話を聞いていましたが、実際寒いを通り越して肌が痛くなるくらいの寒さに思わず笑いがこみ上げてきました。私にとって上士幌町での生活はまだまだ刺激的です!

今回は上士幌小学校、上士幌中学校で開催した「選書イベント」についてご報告させていただきます。選書イベントとは、書店さんにご協力いただき、実際に本を手に取りながら図書室に入れて欲しい本を自分たちで選ぶことができるイベントです。上士幌小学校では昨年11月末に、上士幌中学校では昨年12月中旬に選書イベントを開催しました。どちらのイベントも図書委員会・学習専門委員会のこども達だけでなく、委員会以外のこどもたち、先生方、保護者、地域のみなさまにご参加いただき大変盛り上がりました。

最近はインターネットを使って、なんでも簡単に手に入る時代になり、本屋さんに行かなくても欲しい本がすぐに読めるようになりました。けれど、「あ!この本おもしろそう!」という発見や出会いは、実際に本を手に取ってみることが一番なのではないかと思っています。

選書イベントではこどもたちだけでなく、大人の方々もとても楽しそうに本を選ばれている姿が印象的でした。今後も様々な年代の人たちが、一緒に本や読書に触れる事ができる時間をつくっていきたいと思っています。



川柳

わが家の膳、パリカ効果で七彩に  
お年玉力が入る渡す指

短歌

寒入の日射しあふる、午後をいま弟逝きしと電話告げきぬ  
いまも母おわすが如し北のそら雲しらじらと輝きゐたり  
初日あび「歌脳回路」オンにして小さきときめきいだきつ今日も  
センターの仕事始めはわつか行き遊ぶ子供らカフェで見つめる  
暖かき家ですぐす正月はわが干支の子年令和の二年  
初売りにスロット・マシンの当り出て令和の春の運良きスタート  
久々に会えし友と休み明け仕事始めの清掃をする  
年始め令和となりて初めての社に行きて手を合せたり  
親兄弟家族とすごす正月の情景なつかしき幸せだつた  
暮れ早き真冬の街空旋回する鳥の群れは時を捲すか  
お年玉もらつてうれしい何買おうよく考えて大事に使う

令和元年 12月末現在の人口

男性	2,427人(+7人)
女性	2,530人(-9人)
人口	4,957人(-2人)
世帯数	2,556世帯(+7世帯)

令和元年度ふるさと納税寄付金

12月分	21,210件
	456,077,272円
累計	582,390件
	1,271,459,557円

※全国より本町に篤志寄付の応援をして  
いただき心より感謝を申し上げます。

※1月16日現在

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人に  
なりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい  
家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつ  
くりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそ  
だてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きまし  
ょう。



●あけましておめで  
とうございます。2020  
年のビッグイベントと  
いえば「東京オリンピ  
ック」ですね。特にマラ  
ソン、競歩は札幌での開催が決定し、見  
に行こうと考えている方もいるのではないかと思  
います。私もぜひ見に行きたいですが、渋滞や人の混雑を考えると、どうしても億劫になってしま  
います。…Y

●今年も雪が少ないですね。雪の少な  
さから昨年度のぬかびら源泉郷では、ア  
イスバブルなる現象が脚光を浴びたわ  
けですが、本年もある程度発生している  
ようです。年末の雨などで表面はボコボ  
コになっているようですが、お湯を掛けて  
表面を滑らかになると観測できるよう  
です。見えやすい場所には旗?などで印を  
ついているうなので興味のある方はぜひ  
訪れてみてはいかがでしょうか。…T

広報かみしほろ 3月号は 2月25日(火) 発行  
予定

令和元年度「上高たより」

上士幌高校です!

文責:教頭

No.22

令和 2 年  
1月24日

TITLE:パイロット資格をめざす本校教員、頑張ってます

12月9日(月)上士幌町の気温はおよそマイナス18度であった。いよいよ冬本番といったところである。そしてこの日は、風は穏やかで、朝6時30分過ぎ頃から東の方角が淡いピンク色から、徐々に、じわじわと赤色へと。とてもきれいな朝焼けを眺めることができた。心が燃やされるような、力強い素晴らしい光景であった。私はその後、校舎巡回のため、3階の方に向かった。そして北側の教室に入り、外を見た時、上士幌では当たり前の熱気球が、ぷかぷかと気持ちよさそうに浮いていた。「今日なら、絶対に最高だらうなあ」と思わず口に出てしまった。空は、雲一つない青空。その中を気球は、どんどんどんどん上昇していき、かなり高くまで上がっていました。風次第で飛んで行く方向は変わるが、気ままな空の散歩は楽しそうに見えた。ただ、地上がマイナス18度。上空は一体何度なんだろう。余計な心配をしてしまった。



△ゴンドラでバーナー操作



△いよいよTake Off



△上空からの眺めです



報告会にご来場ありがとうございました

文責 渡邊 のぞみ

12月12日(木)3年生の選択授業  
「上士幌学」の報告会を「わっか」で  
行いました。3年前から実施されて  
いましたが、今回は他の授業を選択している生徒も一緒に参  
加する形になり、3年生全員が参加しました。

私は開拓時代の偉人「松浦武四郎」と「依田勉三」をテーマに選び、ポスター形式で発表しました。作成に時間がかかっ  
てギリギリになり、発表練習の時間がなくなってしまったためにで  
きるのか不安でしたが、当日は何とか無事に発表を終える  
ことができました。反省としてはもう少し役割分担をしつ  
かりしておけばよかったと思います。

全体で13ブースとテーマを細かく分けたため各ブース  
が近く、地域の方からも「聞き取りにくい」との意見があり、  
私自身も他の発表が気になってしまったので、来年は会場  
をもう少し広く使う工夫をすると良いと感じました。



△しんむら牧場について説明しています



△発表中の私です(右側)